

平成26年度採択

国民病「顎関節症」の治療に最適な革新的次世代型開口訓練システムの開発
山科精器株式会社（滋賀県） 主たる技術：立体造形

成形が難しい高強度樹脂で複雑形状部品を精細に造形する技術を確立

- ・顎関節の前方滑走運動と蝶番運動を組み合わせた理想的な開口軌道を実現する訓練器
- ・診断学、生理学、人間工学を考慮した設計で測定誤差が生じにくい測定器

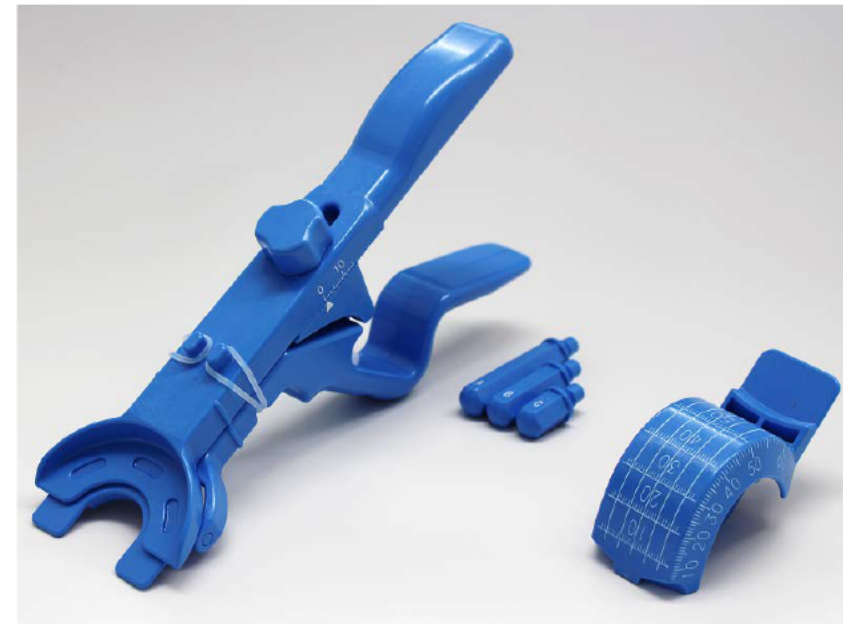
研究開発の成果

■ 開口訓練器

- ・顎関節の前方滑走を効率的に誘導できる
- ・スライド式の自由度を持った支点により、解剖学的に正しい開口軌道をトレースできる
- ・特定の歯に負荷が集中しない

■ 開口度測定器

- ・測定の再現性・操作性・視認性に優れる
- ・開口に伴う下顎の側方偏位量を評価でき、開口路の変化を評価できる
- ・上記の機能により従来品では困難であった、より客観的で正確な評価・診断ができる



研究体制

公益財団法人滋賀県産業支援プラザ

山科精器株式会社
国立大学法人 東京医科歯科大学
滋賀県工業技術総合センター

当該研究開発の連絡窓口

所属：山科精器株式会社

メディカルアドバンサーズ 設計課

E-mail：medical@yasec.co.jp

電話番号：077-558-1173